

有年小だより

【校訓】ほがらか はつらつ すこやか

うね  
赤穂市立有年小学校

本校の卒業生が名付けたはばタン



〒678-1186

赤穂市西有年2853番地

TEL 0791-49-2081

発行者 江尻裕亮



こまどり



緊急事態宣言に対応した学校生活を送っています



1月13日（水）に兵庫県を含む11都府県に緊急事態宣言が発出されました。これを受け、赤穂市の小学校でも、昨年（1回目）の緊急事態宣言発出時よりも一層徹底した、市内統一の感染予防対策を実施しています。

本校でも、ガイドラインの2回目の改訂を行い、日々の教育活動の具体的な取組をさらに進めています。（第3版ガイドラインは学校ホームページにも掲載しています。）

今後、状況に応じて学校行事の中止や見直しもあろうかと思いますが、子供たちの命と健康を守ることを何よりも第一に対応してまいります。ご理解のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



飛沫防止のパーティションを設置した職員室



明るく元気な挨拶を広げましょう

1月は「あいさつは あかるくげんきな 4のこえ」を生活目標に、子供たちは挨拶をがんばりました。「4のこえ」とは、声の大きさを4段階で表した時の最大値です。

新型コロナウイルス感染予防対策で大きな声を出すことに制約がかかり、音楽の授業でも室内での歌唱はできません。このような中、子供たちは相手にきちんと気持ちの伝わる挨拶を心がけて努力しています。そのがんばりを、陣たくんが応援に来てくれました。



陣たくんにも元気に挨拶！

人間関係の基本は、まず挨拶からと言われます。春川政信先生（元三木市人権同和教育協議会副会長）の「春ちゃんの子育て10か条」の冒頭には次の二つが挙げられています。

- 1 朝は明るく元気に「おはよう」
- 2 家庭の中でも「ありがとう」と「ごめんなさい」

これらを、まずは家庭から、そして学校・地域へと広げていけたらと願っています。

## 「1.17を忘れない」防災学習は学級ごとの実施に変更しました

本校では、毎年1月17日に赤穂防災士の会会長・金井貴子さんをお招きして、全校で防災学習を行っています。

これまでに、紙食器作りや新聞紙スリッパ作りなど、避難所で実際に役立つ実習を行い、今年で4回目を迎えるところでした。しかし、今回の緊急事態宣言を受け、全校での実施は見送り、各学級ごとの学習に変更しました。

それぞれの学級では、まず、放送の合図により黙祷を捧げそれから金井さん提供の貴重な資料をもとに学習を進めました。最後に、金井さんが一人一人に作ってくださった折り紙のアマビエを担当から受け取り、思いを一層深めました。本校では、これからも命を大切に学習を進めていきたいと思ひます。金井貴子さんから、心のコもったメッセージをいただきました。



心を込めて黙祷をしました

有年小の皆さんへ

1月15日に予定されていた「1.17を忘れない」防災学習が、コロナの影響で残念なことに中止になりました。担当の先生と何回も打合せをして準備して、当日、皆さんに会って一緒に防災のことを学べることをとても楽しみにしていました。

自然災害には地震、津波、高潮、台風、豪雪、洪水、噴火などがあります。今は新型コロナウイルスが全世界の人々の生命を脅かしています。これもまた災害だと思ひます。自分自身や家族、周りの人たちの命を守るために、手指消毒、うがい、マスクの着用、しっかりご飯を食べて免疫力を付ける、運動する、「三密」を避けるなど、自分にできることをしっかりとやってください。

阪神淡路大震災26年。

26年前に起こった災害を教訓に国や県や市、先生、お父さん、お母さん、おじいさん、おばあさん、近所のおじいさん、おばあさん、防災士・・・たくさんの大人が皆さんを全力で守ろうとしてくれます。

でも、皆さんには力があります。知恵があります。学んだ知識もあります。小学生だからと大人に頼りきりになるのは卒業です。紙食器も作れます。新聞紙スリッパも、白いご飯も炊けます。段ボールベッドも組み立てられます。トイレも作れます。いざという時、助けられる人から助ける人に、有年小の皆さんなら必ずなれます。防災士の金井が応援しています。いつでも飛んでいきますから。



いただいた折り紙のアマビエ

赤穂防災士の会会長 金井貴子

※ 2月の生活目標は「有年小に ひろがれみんなの ありがとう」です。学年のしめくくりに向け、感謝の心を友達・先生・保護者・地域の方に伝えていきたいと思ひます。

※ 今号タイトルのはばタンは、困難に負けずにがんばる「がんばるタン」です。

